

# 第3回「子どもの貧困対策」情報交換会

テーマ：妊娠期・乳幼児期からの支援のあり方を考える



背景に経済的困難があり、妊娠や出産に悩みを抱える女性や家族、乳幼児期の養育環境に社会的な不利を抱えながら育つ子どもたち——。人生のはじまりに抱え込む困難と不利の現実をふまえ、その時期に求められる支援について、産婦人科、乳児院、婦人保護施設の現場からご報告いただき、子どもの貧困対策の今後を一緒に考えたいと思います。

【日時】2016年1月16日(土) 10:15～16:00(9:45 開場)

【会場】筑波大学 東京キャンパス文京校舎 134 教室

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷（みょうがだに）駅下車「出口1」徒歩5分程度

【資料代】500円（可能な方より・学生無料） 【定員】150名

【申し込み】参加ご希望の方は、件名に【情報交換会申込】と明記のうえ、①お名前、②お立場・ご所属、③お住まいの都道府県、④電話番号 をご記入いただき、1月14日（木）までに、右記のアドレス宛にお申し込みください。mail@end-childpoverty.jp

★当日参加歓迎ですが、準備の都合上、事前申し込みにご協力ください。

講演：佐藤 拓代さん（地方独立行政法人 大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター 母子保健情報センター長）

報告：都留 和光さん（社会福祉法人 二葉保育園 二葉乳児院院長）

細金 和子さん（社会福祉法人 慈愛会 慈愛寮施設長）

鮫島 浩二さん（さめじまボンディングクリニック 院長）

■問い合わせ・当日連絡先：TEL 070-6576-3495

■主催：「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク

■助成：公益財団法人 キリン福祉財団

※プログラム詳細は、裏面をご覧ください。

## 【プログラム】(予定)

・10:15 開会 (9:45 開場)

・午前の部 (10:15~12:30)

◇開会挨拶

◇講演：妊娠期からの母子支援——今求められる新たな対策 (仮題)

佐藤 拓代さん (地方独立行政法人 大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター  
母子保健情報センター長)

◇報告：都留 和光さん (社会福祉法人 二葉保育園 二葉乳児院院長)

◇質疑応答

・昼休憩 (12:30~13:30)

・午後の部 (13:30~16:00)

◇午前のふりかえり

◇報告：細金 和子さん (社会福祉法人 慈愛会 慈愛寮施設長)

◇報告：鮫島 浩二さん (さめじまボンディングクリニック 院長)

◇質疑応答・会場との意見交換

◇閉会挨拶

※閉会后、同じ会場で、交流タイムを設けます (16:10~16:40)。

お菓子・お茶をご用意いたします。



## 【会場アクセス】

筑波大学東京キャンパス

文京校舎 134 教室

東京メトロ丸ノ内線

茗荷谷 (みょうがだに) 駅

下車「出口1」徒歩5分

〒112-0012

東京都文京区大塚 3-29-1